

## ものづくり表彰2022 表彰企業

ものづくり表彰\_特設サイト：<https://www.shinagawa-businessclub.jp/monodukuriaward/>

### 1. 東京商工会議所品川支部推薦企業

#### 津止合金工業株式会社

所在地 品川区南品川 6-5-15  
代表者名 津止 克明 氏 (代表取締役社長)  
事業 各種銅合金鋳物の製造  
URL -

#### 加藤電機株式会社

所在地 品川区西五反田 7-22-17  
代表者名 間宮 龍洋 氏 (代表取締役社長)  
事業 変圧器保守用真空脱気装置の設計・製作  
URL <http://www.katofl.com/>

### 2. 一般社団法人品川産業協会推薦企業

#### 藤倉航装株式会社

所在地 品川区荏原 2-4-46  
代表者名 長井 弘 氏 (代表取締役社長)  
事業 各種パラシュート・救命装備品・特殊被服・宇宙観測補助器材等の開発・製造  
URL <https://www.fujikura-parachute.co.jp/>

#### 猪鼻繊維工業株式会社

所在地 品川区南大井 1-16-8  
代表者名 山口 嘉樹 氏 (代表取締役社長)  
事業 製鉄用耐熱防火服・防塵服等の製造  
URL -

### 3. 東京中小企業家同友会品川支部推薦企業

#### 三和電気株式会社

所在地 品川区南品川 6-7-9  
代表者名 宮崎 裕二 氏 (代表取締役社長)  
事業 微細コイル・ロッド・ニードル・プレート・パイプ・ワイヤー等の加工・製造  
URL <https://mitsuwa-elec.co.jp/>

## 銅合金鑄物の専門家集団

東京商工会議所品川支部推薦企業



代表取締役社長 津止 克明

### 会社概要

本社

品川区南品川 6-5-15

TEL

03-3474-2776

FAX

03-3474-2779

E-mail

katsuaki-t@  
tsudome-metal.com

創業年

1932 年

資本金

4,000 万円

従業員

21 人

### 事業内容

主要営業品目

各種銅合金鑄物

主な設備

電動可傾式ガス溶解炉

門型マシニングセンタ、NC 旋盤

特徴

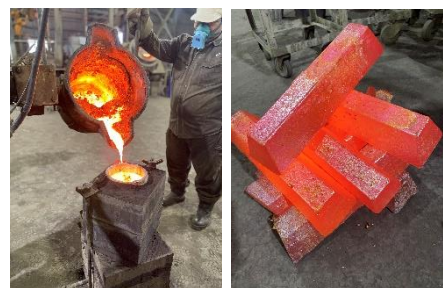
多品種少量・超短納期鑄造

### 人から人へ受け継いできた鑄物づくり

1932 年、千代田区神田にて非鉄金属・伸銅品の販売を始めた。6 年後の 1938 年には、品川区にて銅合金の鑄造を開始し、以来、一貫して銅合金鑄物を扱っており、現在は多品種少量生産が中心となっている。

造形工程、溶解工程、鑄込み工程、後処理工程、切削仕上げ工程の各工程において、機械設備は活用しているが、多品種少量生産、短納期への対応には、技能者の経験とノウハウ（職人技）に依る部分が大きい。そのノウハウは現場で人から人へ継承してきている。三代目の現社長が入社した約 20 年前より

20 歳代の若手の採用を続けつつ、ベテランから若手へノウハウを継承している。



鑄込み～後処理工程



切削仕上げ工程

### 経験に裏打ちされた職人技で超短納期・高品質を実現

以前より取引のある製品は、納期が 1～2 日といった超短納期のケースも少なくなく、当然、品質への要求も高い。主に圧延機、クレーン、ダイキャストマシンはじめ産業機械の可動部に不可欠で定期交換を要する部品を手掛けており、必然的に多品種少量となり、稼働中の産業機械での部品交換は短時間が要求され、納期もより短くなる。

技能者の豊富な経験に裏打ちされたノウハウの組合せで、きめ細かなあらゆる要求に対応し、超短納期、高品質を実現している。

青銅、鉛青銅、燐青銅、黄銅、高力黄銅、アルミ製銅といった銅合金鑄物、軽合金芋生等を扱っており、砂型の形状、材料配合、注湯方法や速度など製品毎にきめ細かな対応が必要となる。



仕上げ後の銅合金鑄物製品

### 信頼の証である大企業との直接取引

現在の主な取引先は、JFE スチール、日本製鉄、IHI、芝浦機械、三井精機工業、月島機械をはじめとする大企業であり、それらのほとんど直接取引で長年、取引を続けている。取引先からの紹介や業界での評判を聞きつけ、新規発注の依頼もある。こうした実績は当社への高い信頼の証といえる。



代表取締役社長 間宮 龍洋

### 会社概要

本社  
品川区西五反田 7-22-17  
TOCビル 4F43号

TEL  
03-6417-3637

FAX  
03-6417-3638

E-mail  
info@katofl.com

URL  
http://www.katofl.com/

創業年  
1923年

資本金  
4,500万円

従業員  
7人

### 事業内容

主要営業品目  
変圧器保守用真空脱気装置

### 特徴

変圧器保守用の機械装置に  
特化

## 変圧器保守装置で70年の経験

1923年に創業し、配電盤、分電盤、油ろ過機、絶縁耐力試験装置の製造・販売を開始した。1950年代には真空浄油（脱気）装置を独自開発し、1955年より変圧器の保守に使用する機械装置専門メーカーとして、本格的な展開をスタートした。

様々な要望に応えながら、主力製品である真空脱気装置は改良を重ね、高い品質と信頼性を実現している。並行して、変圧器保守に使用される油ろ過機、活線浄油機、圧縮空気用乾燥装置、真空ポンプ、ケーブル油脱気装置も独自開発し、変圧器の保守をトータルに担っている。乾燥装置はマイナス40度まで変圧器の天敵である結露を生じさせない能力を持っている。



真空脱気装置(変圧器工場用)



サウジアラビア淡水化プラント



サウジアラビア 電力会社

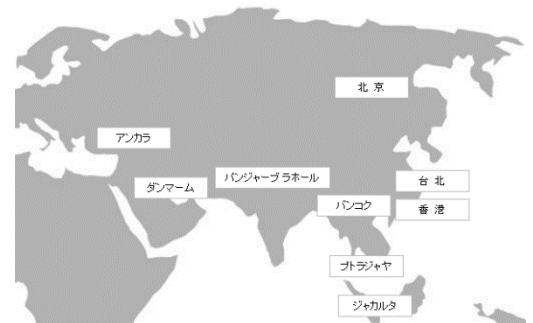


パキスタン 電力会社

## 事業領域は中国・東南アジアからトルコまで

現在、インドネシアを中心とするアジア一帯からの受注が80%を占めており、インドネシア、サウジアラビア、パキスタンの国営電力企業より、指名を受けることも少なくない。真空脱気装置など変圧器保守用の装置には品質と耐久性が要求され、長年、手掛けている当社はアジア市場において、知名度も高く「加藤ブランド」として定着している。国営企業からの指名は、それを証明している。コピー製品も出回っているが、当社への信頼は揺るぎない。

海外事業では、主要都市の現地代理店と提携し、設計・製造のすべてを国内で対応し、納入時には現地スタッフへの装置使用のトレーニングを行っている。



海外パートナーネットワーク

## 培ってきた技術で新たな環境に適応

主要競合相手は国内外にそれぞれ2、3社程度あり、最近、アジア市場ではオーストラリア、オーストリアが進出してきている。またウクライナの企業との協創打診が生じるようになった。短期間での大量な供給、価格など、厳しい競争に直面することもあるが、長年の培ってきた技術と信頼で乗り越えている。



代表取締役社長 長井 弘

### 会社概要

#### 本社

品川区荏原 2-4-46

#### TEL

03-3785-2111

#### FAX

03-3784-0416

#### URL

<https://www.fujikura-parachute.co.jp/>

#### 創業年

1939 年

#### 資本金

5,000 万円

#### 従業員

175 人

### 事業内容

#### 主要営業品目

各種パラシュート

救命装備品

特殊被服

宇宙観測補助器材

#### 特徴

国内唯一のパラシュート

メーカー

## パラシュートの国内オンリーワンメーカー

藤倉工業（株）（現藤倉コンポジット（株））より、パラシュート及び航空機材料の製造販売を目的として分社し、1939年に現在地で創業している。敗戦によりパラシュートの生産は中断したが、朝鮮動乱を機に生産を再開し、以来、パラシュート、各種救命装備品を作り続けている。国内唯一のパラシュートメーカーとして、製品の安全性、耐久性、操作性を徹底的に追及し、国防の最前線から厚い信頼を寄せられ、国内外からの評価は高い。蓄積されたノウハウにより開発製造し続けるパラシュートは人員降下用のほか、様々で過酷な環境下でも正確に機能する物量投下用、ジェット機の制動用等様々な用途にも使用され国防の多方面を支えている。



人員降下用



物量投下用



ジェット機制動用

## 自衛隊航空機搭乗員の任務遂行に貢献

長年培ってきた、各種繊維材料の裁断・縫製・接着加工等の技術を活かして、過酷な環境下で任務を遂行する陸上・海上・航空自衛隊の航空機搭乗員用救命胴衣や特殊航空被服等を生産している。特に近年は医学的・人間工学的な人体サイズデータの計測・解析及びCADを活用し、軽量化と強度を兼ね備え、かつ着用者の装用性の改善も実現するなど、製品の改良にも積極的に取り組んでいる。



耐寒耐水服 | 耐 G 服

## 長年培った技術とノウハウで航空宇宙開発を

現在は防衛関連のほか、技術やノウハウを活かして、民間向けの救命胴衣や救助マット等も生産している。さらに最先端分野である航空宇宙開発分野においても、各種製品開発製造を受注している。特に、高い製造技術と徹底した製品品質が求められる大型気球の製造に際しては、航空宇宙研究開発機構（JAXA）の仕様要求を確実に満足した製品納入を実現するとともに、世界的にも注目されたはやぶさ2及びはやぶさプロジェクトにおいては回収用パラシュート等を担当し、小惑星からのサンプル回収ミッション成功に大きく貢献した。



大気球実験用気球



はやぶさ2回収用パラシュート

## 特殊耐熱防火服の職人集団

一般社団法人品川産業協会推薦企業



代表取締役社長 山口 嘉樹

### 会社概要

#### 本社

品川区南大井 1-16-8

#### TEL

03-3763-9651

#### FAX

03-3763-9659

#### E-mail

inohana@titan.ocn.ne.jp

#### 創業年

1939 年

#### 資本金

1,000 万円

#### 従業員

7 人

### 事業内容

#### 主要営業品目

製鉄用耐熱防火服

#### 特徴

アラミド繊維等の縫製技術

### 耐熱防火服の製造で70年以上

1948年、現在地で操業を開始して以来、一貫して製鉄所での作業員を防護する耐熱防火品を手掛け続けている。鶴見製鉄（現 JFE グループ）との耐熱手袋の取引を皮切りに、アラミド繊維など新たな耐熱素材にも対応しつつ、現在は耐熱防火服やクリーンルーム用防塵服等を製造している。

取引条件から輸入材料を利用する必要があり、急激な円安で厳しい状況に直面している。しかし、これまでの様々な経験も踏まえ、取引先との価格交渉、製造工程の効率化を検討しつつ、事業継続を着実なものとしつつある。



耐熱防火服・防塵服

### 長年培ってきた職人技で様々な要求に対応

縫製から仕上がりまでを想定し、かつ素材の有効利用にも配慮した型紙設計、汎用のマシンや道具による高品質な縫製技術を駆使して、2、3枚から100枚で常に変動する短納期の受注に柔軟に対応している。

長年にわたり培ってきたノウハウは目立たないが、職人技として継承され、そのことが柔軟な対応力を生み出している。中でも様々な使用に対応するための縫い目に、職人技と汎用マシンで対応している。



若手からベテランの職人技による柔軟な製造体制

### 都市でのものづくりを継続

宅地化の進展はじめ都市化する品川区において、今日でも耐熱耐火服もはじめとする製造を続けており、今後も継続が期待される。近隣は住宅が立ち並ぶ中、景観にも配慮しながら、地域コミュニティにも溶け込みながら、都市でのものづくりを続けている。

## モノづくりの「かっこよさ」を世界に広げる

東京中小企業家同友会品川支部推薦企業



代表取締役社長 宮崎 裕二

## 会社概要

## 本社

品川区南品川 6-7-9

## TEL

03-3471-3682

## E-mail

info@mitsuwa-elec.co.jp

## URL

<https://mitsuwa-elec.co.jp/>

## 公式Instagram



## 創業年

1933 年

## 資本金

2,400 万円

## 従業員

100 人

## 事業内容

## 主要営業品目

微細コイル、ロッド、ニードル、プレート、パイプ、ワイヤー

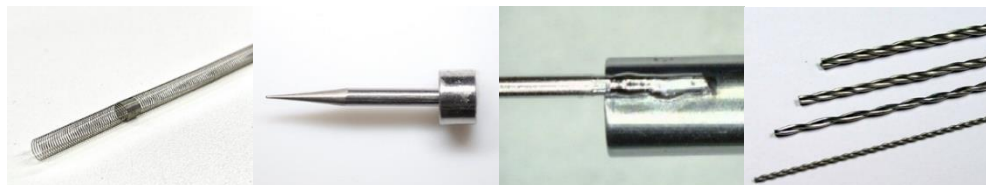
## 主な設備

コイルマシン、連続熱処理炉、NC 旋盤、YAG レーザ溶接機

## 難削材の微細加工技術で医療・産業に貢献

創業以来、手掛けている白熱球用フィラメント製造で培った材料を巻く「マイクロコイル技術」を駆使し、照明・医療機器・産業装置で利用される様々な微細コイルを製造している。

近年微細加工技術を活かし、コイルのほかロッド、ニードル、プレート、パイプ、ワイヤーなど、照明・医療機器・産業装置で利用される微細コア部品の開発・製造を行っている。商業用印刷機器や空気清浄機などに使われている。



マーカーコイル(医療用)

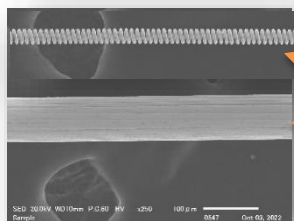
放電針

電子放出源

タンガステン・モリブデン線

## 常に挑戦し、世界へ発信し続ける

製造だけでおさまらず、ジグの自社設計や加工設備、検査装置、人の技能を巧み組み合わせ、高品質・高精度微細加工を実現している。最近では世界最小コイルの製造に成功している。従来の最小外径は 0.037 mm であったが、今回開発・製造したコイルは外径 0.027 mm であり、ギネスにも認定された。

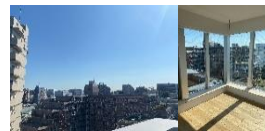


髪の毛同等サイズのワイヤー  
と比べると約 3 倍細い!

※髪の毛の太さは約 0.08 mm



また、元々所有していた旧本社のビルを解体し、今年からコワーキングスペース「U-make」として、運営を始める。単なる不動産ではなく、「ものづくりで挑戦する人を応援する」ことを掲げ、三和電気及び会員によるワークショップを開催する予定とのことだ。今後の活動が楽しみである。



## 海外市場への本格参入に挑戦

多様な医療機器や産業装置の微細部品を幅広く提供している同業者はなく、取引はすべて主要メーカーから直接受注している。現在、直接輸出は 10% であるが、コスト競争力を高めて、海外市場の拡大を計画している。ベトナムに委託製造拠点を開設し、欧米市場への供給に向けて準備を進めている。

## 学生と企業で作上げる「燃えるインターンシップ」

モノづくりの魅力を広げるために、学生向けの 2 週間のインターンを 2 年前から実施している。「燃えるインターンシップ」という名の元、「製造業×SDGs」というテーマで、学生と企業陣が燃え続けるインターンシップである。このインターンシップは好評で、2 年連続学生満足度が 100% で日刊工業新聞にも取り上げられた。また、別で長期インターン生を受け入れ学生との交流に積極的である。

